

本番
参加



法被、足袋の貸出しあり！気軽に伝統へ飛び込もう

神輿・太鼓台を担ごう



日時 10月25日 8:00～15:00

申込 10月5日 〆までにQRコードからWeb申込

◎「友人と参加希望」など、特記事項があれば合わせて記入

◎集合場所など詳細は申込者に後日連絡します

☎ 名張市民センター ☎ 64-2605

神輿は重いし、肩も張るし、大変ですよ。でも、同じ重さをみんなで背負って、終わった後に「お疲れさん」って肩をたたき合う。知らない人ばかりでも、終わる頃には仲間になってると思うんです。そういう「楽しさ」がないと、伝統はつながっていかないんじゃないかな。「友人と一緒に担ぎたい」「力に自信はないけど参加したい」など個別の要望も聞きますので、ぜひ一度、見る側ではなくて祭りの中心に飛び込んでみてほしいですね。

旧市街地以外に住む人たちにとっても、「名張秋祭り」は同じ郷土の大切な伝統。だからこそ、祭りの門戸を広く開き、市外の方も含めていろんな人に参加してもらいたい。みんな楽しくやりながら、伝統を継いでいけたらと思っています。

名張秋祭りを
「みんなの祭り」にしたい



名張秋祭り実行委員長
菊山 賢二 さん



1人でも！親子でも！試乗からお囃子体験までまると満喫

見て、乗って、奏でる だんじり体験

日時 10月4日 9:30～12:00

場所 本町集議所（本町55-4）◎本町振興組合駐車場をご利用ください

料金 300円（保険料）

定員 20人（最小催行人数5人）

申込 9月23日（水・祝）までにQRコードからWeb申込

◎ツアー後、アンケートにご協力をお願いします。

☎ 咲花 nature&culture（田中） ☎ 090-7615-6383



事前
体験



エコツアーガイド 田中 明子 さん（右）と
企画に携わっている本町区の皆さん

今回のツアーでは、ただ見るだけでなく、実際にだんじりに乗ったりお囃子を体験したりして、伝統をまるごと体感していただけます。地域のひととの交流も楽しみながら、ぜひ私たちと一緒に、「だんじりファン」になる一日を過ごしませんか？

大切に守ってきた伝統を将来に繋ぐためには、地域のひとと一緒に伝統を支えてくれる、地域外の人の力が必要です。現状でも、だんじり巡行に関わる人の約4割が地域外から来てくれた人たちなんです。

伝統は一度途切れてしまうと取り戻すのが難しい。コロナ禍でだんじりの巡行を止むを得ず見送ったときに痛感しました。少子高齢化が進み、祭りを継ぐ地域の人たちが少なくなっています。

「だんじりファン」になる
1日を過ごしませんか

エコツアー モニターツアー



名張秋祭り

あなたも参加しませんか？

①祭りの主役「年頭子」を先頭に宇流富志禰神社へ歩く ②刀の代わりに耳に簪を差す風習が今も残る ③獅子舞の奉納にみんな釘付け ④イオン名張店の駐車場に出し物が大集合！ ⑤七福神が屋台の間を練り歩く ⑥宇流富志禰神社で神輿が力強く大回転

毎年10月最後の土・日に開催される「名張秋祭り」。名張地区で開催されるこの祭りは、神輿の担ぎ手などとして誰もが気軽に参加できるのが大きな魅力の一つです。その一体感や達成感が、多くの人をリピーターにしています。

祭りの始まりは江戸時代。1636年、藤堂高吉公が、その年に生まれた子どもを祝うために始めたといわれています。1日目の「宵宮」では高吉公が「祭りの時だけは武士の装いを」と農民に許した名残の袴姿で、人々が松明行列を練り出します。その光景はまるで江戸時代へタイムトラベルしたかのよう。2日目の「本宮」では、それぞれの町のだんじりや神輿、太鼓台がまちじゅうを巡り、最後はイオン名張店へと集結。昔と変わらぬ熱気が会場を包みます。

しかし近年、少子高齢化によって担い手不足が深刻化。「地区内外に関わらずたくさんの人に関わってほしい」という思いから、神輿や太鼓台などの担ぎ手を広く募集しています。あなたも、この熱気の輪に加わってみませんか。



名張秋祭り
Instagram